

# 平成30年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	福山市立加茂小学校
-----	-----------

## 1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

昨年度の傾向として、朝食の喫食率は、1学期98.7%、3学期95.4%であった。朝食の内容や日々の朝食喫食の習慣化には繋がっていない。

本校の給食残食率は、3.4%（市内平均1.2%）であった。偏食、小食などの理由で、給食を食べ残す児童が固定化している現状である。

## 2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

学校評価 豊かな心をもち 自ら学び 実践する子ども

〈学校給食目標〉食に関心をもつ子を育てる。

## 3 食育の目標に対する具体的な取組

### 【取組1】（テーマ） 食の関心を高める取組について

#### ・給食時間の充実

給食について、旬の食材、正しい配膳、食事のマナー、郷土料理などさまざまなことを伝えた。また、給食時間に配布する「きゅうしょくつうしん」を、給食放送や教室で活用し、食育指導を実施した。

#### ・掲示物の作成

立ち止まって「見てみたい!」「やってみたい!」と思うような掲示物を作成し、食への興味関心を高めるよう努めた。



<きゅうしょくつうしん><ししゆずの実物と掲示物><主食の掲示>

<魚の掲示>

#### ・食育だよりの発行

食育だよりを毎月発行し、家庭での食の関心を高めるよう努めた。児童の食に関する授業や委員会活動の取組の様子、給食物資の選定、新メニューの開発、給食レシピの紹介等の情報発信を行った。



<9月食育だより>



<10月食育だより>

## 【取組2】(テーマ) 残食率低下を図る取組について

### ・残食量調査の実施

昨年度11月(市内一斉調査月)の本校の残食率が3.4%と市内平均1.2%と比べ非常に高かったため、今年度9月、10月の第4週目を「もぐもぐ週間」、11月の1か月間を「もぐもぐ強化月間」とし、児童の食べきる力を高めた。また、給食委員会の児童と共に、完食したクラスが見て分かるような掲示物の作成や完食クラスを日々の放送で伝えた。



<完食したクラスの掲示>

### ・中学校との連携

加茂中学校では、昨年度の残食率が6.3%であった。中学校の教職員を連携し、毎日残食量についての放送を行った。また、1人1人が自分のこととして意識できるようリーフレットの作成や掲示物等で啓発した。



<リーフレット>

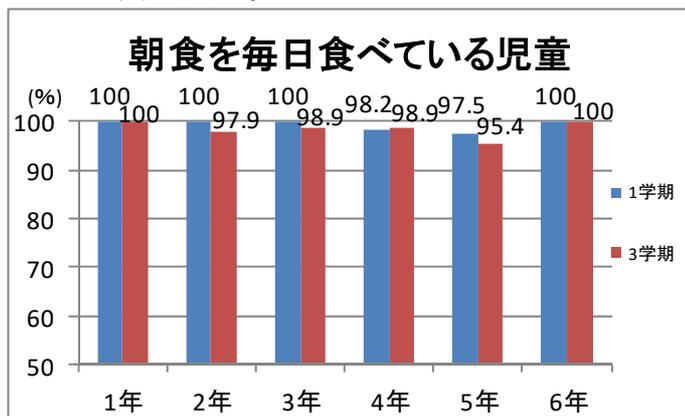


<掲示物>

### 【取組3】(テーマ) 朝食の取組について

・朝食アンケートの実施

朝食を食べている児童数は、1学期と比較して3学期は減った。欠食の理由について、朝は寒くて起きることができず、食べる時間がなかったという意見が多かった。また、調査時期に、インフルエンザが流行していたため、体調不良で食事の準備が困難であったこと、食事をとることができなかった児童が多かった。アンケートの回答が多かった、簡単な朝食レシピを教えてほしいという意見から、食育だよりにてひろしま給食朝食レシピの紹介をした。



<2月たより>

### 4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

各学級と校内へポスターや掲示資料を掲示、給食時間にひろしま給食について校内放送をした。また、夏休みに実施する子ども料理教室でひろしま給食のレシピを活用した。さらに、毎月の食育だよりにて家庭へ情報発信をした。



<ひろしま給食の掲示>



<子ども料理教室を掲載したたより>



<ひろしま給食の掲示を掲載したたより>

### 5 取組に対する成果と課題

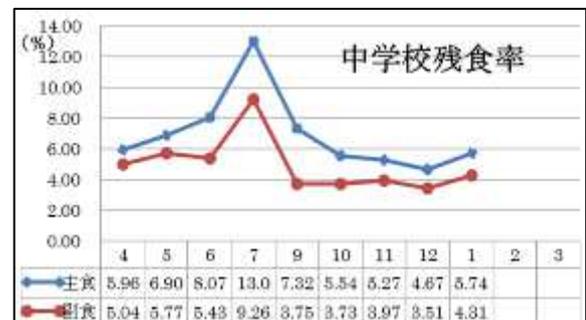
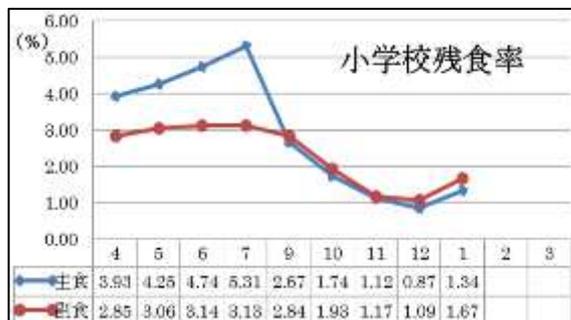
#### 【成果】

「きゅうしょくつうしん」の感想が、毎日提出され、給食放送で読み上げることで、食への関心をもつことができた。

小学校では、もぐもぐ週間、もぐもぐ強化月間の取組から、残食率が1.3%に低下し、市内平均1.3%に到達し、食べる力が身に付き始めた。中学校では、放送を行うようになった9月から残食率は低下し、11月には4.6%になった。

食育だよりを通して、保護者から、「子どもから給食がおいしかったので、家でも作ってほしい！言われたのでレシピをもらえないか」という声をいただいた。給食を通して、家族で食についての会話が行われていることが分かった。

朝食アンケートを行うことで、栄養バランスが良い食事を行う習慣作りのきっかけになった。児童の感想の中には、「黄・赤・緑が揃うように、朝ごはんを食べるのは難しかったけど、どうすれば3つのバランスがそろるか考えることができた。」「表にすると何を食べているのかよく分かり、何が足りないか気を付けることができた。」等があり、よりよい朝食喫食に努める意欲がみられた。保護者の感想の中には、「表にしてみると、あまりバランスよく食べられていないことが分かりました。気をつけて作って、子どもたちに食べてもらいたいです。」「朝はどうしても忙しいので、パン食が多く、緑の食べ物があまりない状態になってしまいました。バランスの良い食事ができるよう、私も気をつけていかないといけないなと思いました。」等があり、こちらもよりよい朝食喫食に努める意欲がみられた。



### 【課題】

もぐもぐ週間やもぐもぐ強化月間、掲示物での啓発等の取組を通して残食率は低下が、依然としてごはん、魚の献立やごはんにかけて食べられないおかずの献立についての残食率は高い傾向にある。

3学期に実施した朝食アンケートによると、1学期と比較して喫食率は下がった。理由として、アンケート実施時期にインフルエンザや風邪が流行していて、食べるができなかったという意見が多かったため、アンケートの時期を考えていかなければならない。

## 6 今後の取組に向けた改善方策について

残食量調査を行うと残食率は低下したが、取組を終えたら残食率は上昇した。このことから、残食量調査を継続して行う必要があると考えられる。

食についての関心を高めるためには、今後もたよりや掲示物を活用して、啓発に努めることが必要である。児童の、食は楽しいという感覚を高めつつ、今後は食事のマナーについても取組んでいきたい。

また、朝食アンケート実施の前には、たよりで朝食の内容について取り扱ってきたい。